

特別推進研究 平成20-24年度

認知発達の霊長類的基盤

人間の心の進化的基盤をチンパンジーの研究から探る



松沢哲郎、友永雅己、
田中正之、林美里
(京都大学霊長類研究所)



- 1) 社会的場面**：複数個体を対象に、道具やトークンを利用した競合あるいは共同作業場面を設定する
- 2) 対面検査場面**：従来困難とされてきた8-12歳という思春期から青年期をへておとなになる過程でも、人間と同様な対面検査が可能だ
- 3) 個体学習場面**：1個体を対象とした「タッチパネル付きコンピュータをもちいた学習場面」
- 4) 自然の生息地でのフィールドワーク場面**：道具使用や親子関係の発達について長期継続観察をおこなう